

バク通信

一四三号

令和三年 三月十日発行
社会福祉法人「ゼノ」少年牧場

ゆめサポート・バク

福山市神辺町東中条73016

TEL (084) 960-2256

FAX (084) 960-2258

「二月の自治会活動」

サービス管理責任者 松岡 肖幸

二月二七日の土曜開所の活動は、予定通りであれば冬の行事の日でした。しかし、コロナウイルスにより行事を通常通り行うことができませんでした。

そこで、二月の土曜開所の時間を利用し、自作のゲーム四種類(バスケット、ストラックアウト、すごろく、ボーリング)を利用者のみんなで作成し、自治会でゲーム大会を行いました。

前日まで雨予報でしたが当日は快晴でバスケットとストラックアウト、すごろくは屋外で実施しました。心地良く過ごしやすい気温で、多くの利用者の方が率先して外に出て活動を楽しみました。



ストラックアウトは出たかな？



顔ではありません。手作りボーリングボール！



・ストラックアウトは、歯を食いしばりながら全力で投げ込みを行う人

・バスケットはボールが入るまで何度も何度も投げ、安西先生(安西先生は漫画スラムダ●ク登場人物です)に励まされたのか？というくらい粘り強くシュートを打ち続ける人

・ボーリングは、職員より上手にピンを倒し、ポーズを決める人

・すごろくは、皆から褒められるマスを作り、そこに停まると皆から「かっこいい」「かわいい」と言われ照れ笑い、ものまねや歌を歌うマスなどもあり、普段見ることのない利用者の方々の姿を見ることができました。

終わった後も、「またしたい」「楽しかった」などの意見を沢山いただきました。

今年度は、コロナウイルスによって例年どおりの行事が出来ませんでした。皆の笑顔の写真をみると、これはこれでいつもとは違うけど良かったのではないかなと思います。来年度も楽しい企画を皆でつくっていきましょう。



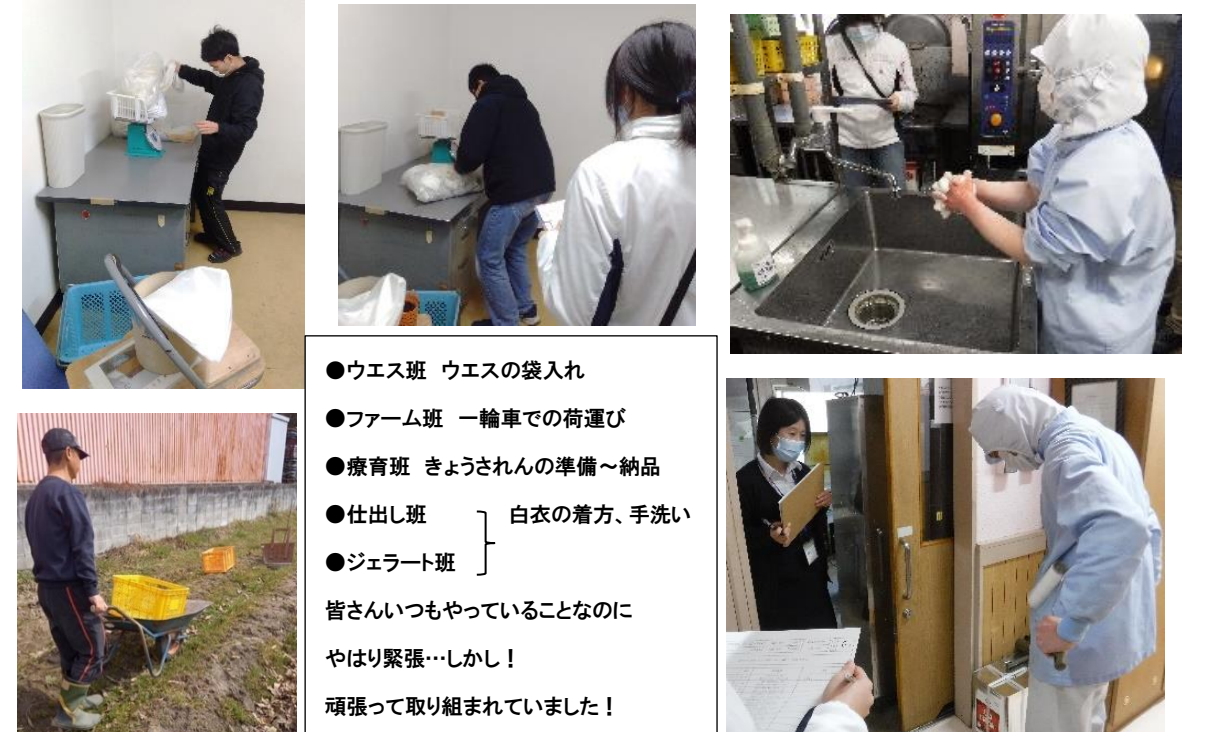
「来年度にむけて」

目標工賃達成指導員 行廣 七海

寒い冬もそろそろ終わりが見え始め温かな春を感じる今日この頃、バクには緊張する一大イベントが行われました。来年度の工賃査定にかかわる重要なテスト：工賃テストです。

工賃テストはバクの施設主催で行う「共通課題」と各部署主催で行う「部署課題」に分かれており、どちらも工賃の額を決める重要なテストです。テストの内容は利用者さんが普段から当たり前に行っている「挨拶」や「作業」が主で、難しい内容ではありません。ですが、いつもと違う雰囲気を感じて緊張する方が続出。平日頃行っていることでもテストとなれば、どうしても固くなってしまいました。

無事テストもすべて終わることができ、採点もつけ終わりました。皆さんが日頃から頑張っていることと、採点したテストの点数が合致していることを願うばかりです。



- ウエス班 ウエスの袋入れ
 - ファーム班 一輪車での荷運び
 - 療育班 きょうされんの準備～納品
 - 仕出し班 } 白衣の着方、手洗い
 - ゼラート班 }
- 皆さんいつもやっていることなのに
やはり緊張…しかし！
頑張って取り組まれました！

「アルコジャーノ楽天ショップオープン」

サービス管理責任者 松岡 肖幸

今年度、少しずつ進めてきた新たな事業、大手インターネット通販サイト「楽天市場」への店舗を二月二日(月)に開設することができました。

二〇二〇年三月より、新型コロナウイルスにより大きく生活の在り方が変化していく中、アルコジャーノも販売形態の見直しを検討することとなり、インターネット販売へと参入することとなりました。

アルコジャーノの立ち上げから一年、福山市で販路を少しずつ広げ、卸先が広島中心となりつつあった近年、販路を次の段階の全国へと広げることとなります。

この不安が広がる世の中、できるだけ多くのお客様の元へアルコジャーノのゼラートをお届けできるよう努力を続け、美味しいものを食べた時のあの幸せや、不安をひとときでも忘れていただけるお時間を提供できるようなゼラートづくりを行っていきたく思います。

楽天ショップ開設に伴い沢山の方のご協力をいただきましたことを、心より感謝申し上げます。誠にありがとうございました。

楽天URL

<https://www.rakuten.co.jp/arcogiano/>

Rakuten

イタリアンゼラート
アルコジャーノ
手作りゼラートの専門店

楽天 アルコジャーノ トップページ!!

友人、知人の皆さんへ是非お知らせください!

NEW OPEN

イタリアンゼラート アルコジャーノ

「検針機の不調」

生活支援員 佐藤 健一

先日ウエス作業で使用している検針機の調子が悪く動くなくなっていました。新しい機械ですが、毎日、何百キロものウエスに金属片が混じっていないか検知してくれている機械です。自分たちでは原因が分からず、急いで修理の人に来てもらうことになりました。動かない大きな機械を横目にできる作業を行っていましたが、やはり手作業では次の工程に支障をきたしてしまい、修理の人の到着を今か今かと待ちわびていました。

数時間後、修理の人が到着し、手慣れた様子で緩んでいたベルト締め直すとあつという間に軽快な音でベルトが動き始めました。担当の利用者さんも、遅れた作業を取り戻すべくいつもにも増して原料を運ぶ手力が入っていて、重い原料を勢いよく転がして運び、準備万端！検針機の上に積み上げた山のような原料を勢いよく流しあつという間にカゴがいっぱいになっていきました。

少し頑張りすぎたかな？とも思いましたがたたくさんの注文に応えるためには欠かせない機械のありがたさと利用者さんの底力を垣間見た一日となりました。



人も機械もよりパワフルに!?

遅れた分を取り戻すぞ!

「仕事がある幸せ」

生活支援員 江草 右子

今年度を振り返ってみますと、とにかく新型コロナウイルスに大きく影響を受けた一年だったことは言うまでもありません。マスクの着用や手指消毒が日常で当たり前に行われる世の中を想像できたでしょうか？食品を取り扱う仕出し班では食品取扱者による体調管理やこまめな手洗い、アルコール等による手指消毒・咳エチケットなど通常の食中毒予防のために行っている一般的な衛生管理を実施していた為、大きく戸惑うことはありませんでした。

しかし感染防止の観点から利用者さんの配達や買い物など、以前は行っていた作業・活動を自粛していただいている点は心苦しく感じています。私達を取り巻く環境は目まぐるしく変化しています。

そんな変化の中で「止めること」「改めること」「新しく取り組むこと」を考えながら、利用者さんと一緒に仕事が出来ていることに幸せを感じる今日この頃です。



当たり前のことをしっかりと!



「きょうされん準備と配達」

生活支援員 佐々木 真衣子

療育班では年三回きょうされん(障害のある人が生きていく上で関わるすべての事業を対象として活動する全国組織)のカタログ物販事業を行っています。お中元、お歳暮、バレンタイン&ホワイトデーとその時期にあわせた商品カタログを配布し皆様からご注文をいただいています。今回は、療育班の大事な収入の柱となっているこの活動の様子をお伝えしようと思います。

まずは、季節、イベントごとに様々な商品が掲載されたカタログに利用者さんと職員とで「ゆめサポート・バク」の判子をつけて配ります。頂いた注文がまとまると業者に依頼します。商品が届いたらお客様ごとに商品の袋入れをして、皆様の所に届けていきます。

今回はコロナ対策として一人一人マスクの着用を徹底して準備、配布作業を行いました。

商品を楽しみに待ってくださっている皆さんへ届ける時は、利用者さんも自然に笑顔になっています。

「きょうされんの商品をお持ちしました。ありがとうございます。」とお辞儀をして気持ちよこめて商品を届けています。

まだまだ大変な時期ではありますがこれからも出来る事を頑張っていきます。



感謝の気持ちを込めて丁寧に袋入れをしていきます!



「春に向けて」

生活支援員 月又 光子

暖冬かと思いきや、マイナス7度という日や、青空に雪が舞ったり、吹雪のような日もあり水道管の破裂も経験した厳しい冬を乗り越え、いよいよ春に向けた畑の耕起、畝づくりが始まりました。利用者さんが「トンボ」を器用に扱い、畝の上を平らに均す姿がカッコよく惚れ惚れしてしまいます!

自然栽培の知識、経験不足で前年の失敗、新たな失敗、わずかな克服、成功が波のように行ったり来たり、そして中々の頻度で沖にすべて流されたりして最も大切な土つくりも未だ試行錯誤しています。

たくさん痛い目に合いながら異常気象や自然の厳しさにも翻弄されほんの少し自然の営みの恩恵を頂いているのが現状です。そんな中で普通、否それ以上の出来栄えのものが収穫できた時の喜びはひとしおでした。

作物だけでなく、大変な作業の中でも日差しの温かさ、風、土や落ち葉の感触、鳥の鳴き声などを日々感じて過ごせることは、コロナ禍で何かとストレスの多い現状には貴重でありたいものでもありました。

一方で、世界に目を転じると、温暖化の進む地球上で食糧生産に欠かせない「土」の三分の一が悪化している。世界中で八億人以上が飢えや栄養失調で苦しんでいて、土の悪化はその原因でもあるといわれています。一センチの土壌が形成されるにはなんと千年かかるそうなのです!

「大事なことは、目に見えない、時間がかかる、面倒なことであり面倒くさい。」星の王子様から宮崎駿、古今東西の偉人達が皆言っていることは、まさに土と向き合う畑作業そのものではないか!とエールをもらった気分になり畑へ向かっています。

少しずつきれいにできるようなった新しい畝を眺めて、見えない生き物たちのいる貴重な土とじっくり向き合い、この春からも暑い!腰が痛い!などと言いつつ合いながら楽しんでいきたいと思っています。



「仕事終了、お帰れ、お帰れ!」

「お帰れ!」

「避難訓練」

生活支援員 堀井 康臣

今年度、二回目となる避難訓練が二月二十七日にありました。

当日は土曜開所の日であり、利用者さんはロビーに集まって午前中におこなったゲーム大会の振り返りを行いました。そんな中、「火事だ!」と調理場から聞こえてきました。職員の誘導で利用者さんは非常ベルが鳴り続ける中落ち着いて避難することが出来ました。避難終了後は水消火器を使つての消火器訓練を行いました。

まずは職員が説明をしながら水消火器の取っ手を握るも水が出ない!なんと中身が空っぽ...というハプニング!しかし、いつもは限られた人しか体験できない消火までの手順確認をほぼ全員で体験できた消火器訓練となりました。



ホースをしっかりと握って...



ねらいを定めて!



今後の予定

3月20日(土) お休み
3月27日(土) 土曜開所
4月10日(土) 土曜開所

